

# まちかど アルバム



## 砂像でサッカー日本代表を応援

鳥取砂丘

砂の美術館第4期展示に、サッカーワールドカップトロフィーの砂像がお目見えしました。これは、6月11日（金）に開幕した南アフリカサッカーワールドカップの日本代表チームを応援しようと、アフリカをテーマに開催する同館が、来館者に一人一彫りずつ削ってもらうことを企画したものです。館内には、南アフリカ共和国ネルソン・マンデラ元大統領の砂像横に、もう一つのワールドカップトロフィーを掲げた少年の砂像があります。

## らっきょう大食いでギネス登録なるか？

鳥取砂丘市営駐車場

6月5日（土）と6日（日）、鳥取砂丘市営駐車場とその周辺で「第2回らっきょうとれとれフェア」が開催され、らっきょうの収穫体験や漬け方講習会のほか、ギネスブック登録をめざした「らっきょう大食い世界大会」が行われました。優勝したのは市内の会社員、橋野敦志<sup>はしのあつし</sup>さんで、3分間の制限時間内に300<sup>g</sup>（約90粒）の甘酢らっきょうを完食。この記録は、後日「ギネス・ワールド・レコーズ」へ申請されました。認定されるといいですね。



## 弥生時代のお米を植えたよ！

青谷上寺地遺跡<sup>かみじち</sup>

5月28日（金）、青谷小学校の5年生児童が、青谷上寺地遺跡<sup>へにぎつちよう</sup>内の水田で赤米の一種「紅吉兆」と呼ばれる古代米を植えました。この時期としては肌寒い気温でしたが、田んぼの泥は意外に温かいようで、児童たちは足の裏の感触を楽しむように移動。その後、列を作って1株ずついいねいに植えました。秋の稲刈りがとても楽しみです。

## マス釣りフェスタは今年も盛況

国府町楠城<sup>なわしろ</sup>

5月30日（日）、恒例の「国府マス釣りフェスタ2010」が袋川上流の国府町楠城で行われました。19回目となる祭りの当日は、晴天に恵まれたこともあり、市内はもとより県外からも大勢の家族連れや釣り愛好家らが参加。マス釣りやつかみ取りに挑戦しました。この日一番の大物は体長が48.5<sup>cm</sup>あり、釣り上げた八頭町の渡辺<sup>わたなべ</sup>弘美さんには地元産米「万葉美人米」と大吟醸酒「京ヶ原」が贈られました。





## はみ出ないよう 倒さないよう

福部小学校

6月5日(土)、自転車の安全運転の講習会が福部小学校で開催されました。5年と6年の児童が安全運転についての心構えを聞いた後、校庭に作られた模擬道路で実地講習を開始。ゆっくりした速度で一本橋走行やS字走行などを行いました。なかでも、狭い間隔で並べられた障害物の間を通り抜けるスラローム走行には悪戦苦闘。何度も挑戦し、障害物にぶつからず走行できたときは喜びもひとしおのようでした。

## 見て！上手に釣れたよ

リファーレンいなば

6月6日(日)、伏野にある廃棄物最終処分場、リファーレンいなばで「第18回リサイクルフェスティバル」が開催されました。会場では、エコに関する講演会やフリーマーケット、ごみの分別クイズなどが行われ、大勢の家族連れらが来場。なかでも、ペットボトルを魚に見立てた釣り堀コーナーは大人気で、たくさんの子どもたちがきれいに洗われたペットボトルを次々と釣り上げていました。



## 季節の題材を折り紙で

用瀬町民会館

6月4日(金)、和紙で季節の題材を折る「おり紙教室」が用瀬町民会館で開催され、地元女性16人が参加しました。参加者は、講師の房安寿美枝ふさやすみえさんに教わりながらアジサイやホタルに挑戦。制作中は会話も忘れるほど集中して、アジサイの花や葉の細かなところまででいねいに折っていました。仕上げに色紙に貼り付けて絵のように出来上がった作品に、みなさん大満足の様子でした。

## さじっ子、ポニーと触れ合う

佐治小学校

5月18日(火)、越路こえじの空山ポニー牧場から佐治小学校へポニーがやってきました。校長先生からの思わぬプレゼントに、児童たちは驚きつつも興味津々。牧場の人たちからポニーの話を聞いたり一緒に歌を歌ったりした後は、1人ずつポニーに乗せてもらいました。日常生活で縁のない乗馬は、さじっ子にとって貴重な体験となったようです。



## ありえない芸術

気高町浜村海岸

5月22日(土)、京都造形芸術大学の学生124人が浜村海岸で毎年恒例のフィールドワークを行い、「ありえない」をテーマとしたサンドアートを制作しました。早朝から9つのグループに分かれ1日ばかりで作り上げた、隕石の落下や延々と続く階段などをイメージした「ありえない」作品は、夜になるとろうそくの炎でライトアップされ、幻想的な雰囲気…。イベントを楽しみにしていた大勢の地元住民らが見物に訪れていました。